報道関係者各位
情報解禁日　2026 年 11 月 29 日 13 時
一般社団法人教育のための科学研究所

基礎的読解力を証明する「RST 読解力パスポート」を 2027 年度から提供予定

大学入試にも使える新たな民間検定が誕生

一般社団法人教育のための科学研究所（代表理事・所長：新井紀子）は、同研究所が提供するリーディングスキルテスト（RST）で測定した読解力を証明し、進学先等に提出できる「RST 読解力パスポート」を 2027 年度から提供する予定です。

RST は、教科書や新聞などの文章を題材に、書かれている内容を正確に捉えるための読解力を項目反応理論に基づき高精度で測定するテストです。小学校高学年以上を対象とし、中高・大学・企業等で広く活用され、これまでに延べ 68 万人以上が受検しています。結果は受検者に通知され、「自分の基礎的読解力がどの程度か」を数値で把握することが可能です。
RST 読解力パスポートは、受検者本人が、RST で測定した自身の読解力を第三者に証明する仕組みです。既に大学入試では、英検など民間試験のスコアが合否判定に利用されるケースが広がっています。RST 読解力パスポートは、英語と同様に各受験生の読解力を証明するために使うことができます。学生の読解力を重視する大学にとって、入試の際に有用なツールとなります。一部の大学では導入に向けた検討を始めています。
さらに、大学や専門学校への提出に加え、将来的には高校入試での利用や、卒業後の就職での利用など、さまざまな場面での活用を想定しています。

提供開始時は、受検会場を高校等に限定し、学校による本人確認と、教員が机間巡視できる環境のもとで実施します。受検結果を記載したパスポートを PDF 形式で発行するとともに、提出先がその真正性を確認できる照合の仕組みも整備します。

なぜ今、「読解力」が必要なのか

教科書や専門書、業務文書などに書かれている内容を正確に読み取る読解力は、学習や仕事に取り組む上で基盤となる力です。テクノロジーの進化により知識が陳腐化しやすい現代では、新しい知識を学び続ける必要があり、その基盤となる読解力は、より重要になっています。一方、本人がどのような読解力を備えているかを、所属する学校や組織を越えて証明する手段や機会は限られています。

高校や大学で RST の導入が広がる中、教育のための科学研究所では、機関を越えて RST のスコアを提出できる「RST 読解力パスポート」を提供することにしました。パスポートの有効期間は受検日から 2 年間です。一回の受検結果を、本パスポートを通じて複数の大学や企業等に提出することで、進学や就職など様々な場面で、自身の読解力を証明する手段として活用できます。パスポートの真正性を確認する手段を提供し、受検者も受け取る機関も安心して利用できるようにします。

RST 読解力パスポートの仕組み

1. 本人確認と監督のもとで受検

提供開始時は、高校等を受検会場とします。学校が受検を申込、学校が責任をもって本人確認を行い、教員が机間巡視できる環境で RST を実施します。

2. 受検結果を PDF 形式で発行し、本人が提出

受検結果を記載したパスポートを PDF 形式で発行します。本人は、大学や専門学校など進学先等に提出できます。画像はパスポートのサンプルです。受検を申し込んだ高校と、パスポートの真正性を確認する大学等には、受検者の能力値が全体で、また高校生の中でどのような位置にあるかを把握するための表を提供します。



RST READING SKILL TEST

RST読解力パスポート

受検者情報

山田 太郎

受検番号(ID) RST-2026-001234
所属(受検会場) 東京都立サンプル高等学校

上記の者は、一般社団法人教育のための科学研究所が提供する
リーディングスキルテストを受検し、以下の成績であったことを証明します。

受検結果

能力値（6分野平均）	分野別能力値 ※各項目の数値は能力値です		
1.50	係り受け解析 1.50 解答数 10問	照応解決 1.50 解答数 10問	同義文判定 1.50 解答数 10問
	推論 1.50 解答数 10問	イメージ同定 1.50 解答数 10問	具体例同定 1.50 解答数 10問

※解答数が少ない場合、能力値の数値精度を確保できないため、能力値は表示されません。

（参考）高校生の受検成績におけるパーセンタイル順位

6分野平均	係り受け解析	照応解決	同義文判定	推論	イメージ同定	具体例同定
91 上位 9%	87 上位 13%	90 上位 10%	92 上位 8%	90 上位 10%	80 上位 20%	84 上位 16%

※2026年度までに受検した高校生のRST受検成績に基づくの考慮です。

特記事項 6分野の平均能力値において、高校生の累積受検者の上位10%以内に相当する好成績でした。

受検日 2026年10月10日
有効期限 2028年10月10日

一般社団法人 教育のための科学研究所

※上記は案です。実際に提供される RST 読解力パスポートは、様式が異なる場合があります。

3. 提出先が証明書の真正性を確認
提出先は、教育のための科学研究所が提供する照合の仕組みを通じて、提出されたパスポートが正規に発行され、記載された結果が改ざんされていないことを確認できます。

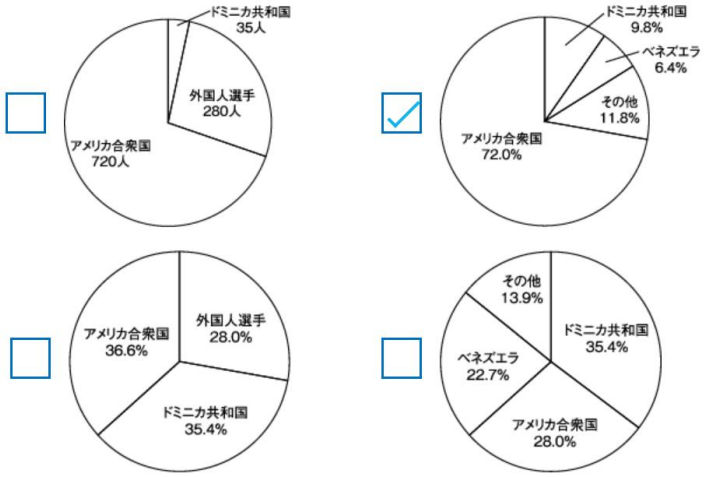
提供開始時は、高大接続（高校生の大学入試利用等）での RST 読解力パスポートの利用を想定していますが、今後、利用できる場面を広げていく予定です。

活用場面の一つとして、大学入試を支援
大学の総合型選抜・学校推薦型選抜などでは、志願者の意欲や活動実績とともに、入学後の学びに必要な基礎学力をどのように確認するかが課題となっています。既に RST を入試に活用している大学がある一方、導入を検討する大学からは、入試当日の機材やネットワークのトラブルを懸念する声も寄せられていました。こうした背景から、大学が自ら受検を実施せずに、本人の読解力を確認できるパスポートの仕組みを期待する声がありました。
RST 読解力パスポートを活用することで、大学は、自ら RST の受検会場や実施体制を用意することなく、志願者の読解力を確認する資料を得られます。初年次教育や学生支援につなげるなど、選抜にとどまらない活用も期待されます。一方、受験生は一度の受検結果を複数の大学に提出できるため、出願先ごとに RST を受検する必要がなくなります。高校の進路指導においても、生徒の時間的・経済的負担を抑えながら、複数の大学への出願を支援できます。

RST と一般社団法人教育のための科学研究所について
RST は、国立情報学研究所の新井紀子教授を中心とした研究チームが開発した基礎的読解力を測定するためのテストです。本テストで測る読解力の能力値（中学生の平均が 0）は、高校入学時点の偏差値と極めて高い相関（0.80 以上）があるだけでなく、大学入学共通テストのスコアとも高い相関（0.4〜0.6 程度）があることが発見されました。特に、数学・情報・理科などの理系科目との相関が高く、言語能力だけでなく数理的思考力も測れる点が、RST の特徴です。（参考文献：「AI vs. 教科書が読めない子どもたち」「シン読解力」（新井紀子著））

下記の文を読み，メジャーリーグ選手の出身国の内訳を表す図として適当なものをすべて選びなさい。

メジャーリーグの選手のうち28%はアメリカ合衆国以外の出身の選手であるが，その出身国を見ると，ドミニカ共和国が最も多くおよそ35%である。



文章と図を正しく対応させる能力（イメージ同定）を測る RST の問題例
（チェックがあるのが正解）

デジタライゼーションが進む現代社会において、読解力の重要性が増すとの認識の下、2018 年に一般社団法人教育のための科学研究所を設立し、RST を提供しています。その他の事業として、学校等に原則無償で学校ウェブサイトを提供する edumap の運営も行っています。

問い合わせ先：
一般社団法人教育のための科学研究所　RST 事務局
「お問い合わせフォーム」よりご連絡ください。
https://rst-web.s4e.jp/toiawase